

日野台巨大データセンター建設

三井不動産は未だデータを示さず!!

住民の暮らしと環境をまもる ための指導を市長に求めます

日野台のデータセンター予定地の周辺住民の代表者は、日野市の「まちづくり条例」にもとづき「調整会」の開催を求め、5月24日、12時間30分以上にわたって事業者との協議(第三者の調整委員が調整)を行いました。

住民と事業者との調整会 5月24日 調整会は「合意」に達せず

住民代表者は、資料やデータなどを示し、事業者との合意を求めて誠実に調整のための議論に力を尽くしました。しかし、「調整会」の結果は、47項目のすべてが「合意」に達せず、ほとんどが「一部合意」でした。その原因は、電力使用量、CO₂排出量、排熱、火災など基本的データを三井不動産が一切公表しなかったことにあります。

日野市は、この報告書を受けて、9月12日、事業者に「指導書」を交付し、「合意事項を実施すること」と指導するとしています。このままでは環境データの公表も環境を守る対策も実行される保証はありません。



高さ 72m 幅は 300m

住民合意なしの 建設強行は許されない!

今後、日野市は、開発事業内容を「指導書」に適合させるため、三井不動産との協議をおこなうことになります。市民の会は、合意されなかった問題について、まちづくり条例68条にもとづき、「周辺住民等との合意形成に向けた協議」を実施することなどを日野市長に申し入れました。市長が住民に寄り添い、事業者に指導できるかが問われます。

建物高さ・日影

高さ72m、幅300mにも及ぶ巨大データセンターは、近隣住民に圧迫感を与えます。夏至でさえ、近隣の日野台公園は8時半にならないと太陽があたりません。「事業性とのバランスの中で再検討」との指導事項では不十分です。

電力消費量・CO₂排出量

1年前から何度も要求しているのに、未だに三井不動産からはデータが出てきておりません。市民の会での推定計算結果は、電力消費量が全市の3倍、CO₂排出量も2倍となります。

それなのに、市の指導事項は「可能な限り早い段階で情報開示に努めること」としかになっておりません。

排熱による気温上昇

事業者からは、未だに排熱量も排熱システムも示されていません。

調整会で周辺住民は、排熱を試算し、日野台2丁目、4丁目と多摩平5丁目で2～3℃上昇、日野市立病院で1.5℃上昇というシミュレーションを示しました。

指導事項は、「可能であれば根拠資料を提示すること」としかになっていません。

火災の近隣住民への影響

調整会で周辺住民は、この7年間に世界で31軒の火災が発生したとの独自調査も示し、世界では、近隣住宅の近接地にデータセンターを設置することを禁止していることを明らかにしました。

市の指導事項も「火災対策の提示」を求めています。



多摩市唐木田の火災

